経尿道的前立腺切除術(TUR-P)を受けられる患者さんへ

主治医（　　）　受け持ち看護師（　　）　説明看護師（　　）

経過	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後１日目	手術後２～６日目	手術後７日目	手術後８日目～退院
日付	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　～　／	／（　）	／（　）～退院
援助目標	・　入院生活について理解できるよう援助いたします。 ・　不安が最小限で過ごせるよう援助いたします。 ・　手術に対する理解ができ、術前の準備が整うよう援助いたします。		・苦痛が最小限で過ごせるよう援助いたします。 ・合併症なく経過できるよう援助いたします。				
処置	・　場合によっては太ももの毛を刈ります。 	・　手術室へ入る前に手術衣に着替えます。（肌着は着用しませんが、パンツは着用していきます。）その後、手術用の弾性ストッキングを履いていただきます。	・術後６時間は酸素吸入を行います。 ・心電図モニターを翌朝まで装着し、頻回に血圧や体温測定を行います。 ・血栓予防の機械を、足に装着する場合があります。 ・下腹部に尿を出す細い管が入る場合があります。	・朝心電図モニターをはずします。 ・歩くことが出来ればストッキングを外します。		・　特にありません。 	
薬剤	・常用しているお薬がありましたらお知らせください。	・１０時以降に手術室へ行かれる予定の方は朝から点滴をします。	・点滴をしています。 ・痛みのある場合は坐薬や注射などで対処します。	・主治医の指示により、常用しているお薬を再開します。 ・点滴は１０時に終了します。（状況により継続する場合もあります。）		・退院時に必要なお薬があれば、主治医へ依頼しますのでお知らせ下さい。 （緊急の処方の場合は退院に間に合わない事がありますので、退院の前日までに看護師へ伝えて下さい。）	
検査	・必要に応じて採血などの検査があります。			・　朝、採血があります。		・必要に応じて行います。	
安静度	・特に制限はありません。	・お部屋でお待ち下さい。	・術後６時間は絶対安静です。６時間後は看護師の介助のもと身体の向きを変える事が出来ます。	・歩行可能となりますが、初回歩行は看護師と一緒に行います。		・特に制限はありません。	
食事	・通常の食事が夕食まで食べられます。夕食以降は絶食です。	・食事はできません。飲水については、麻酔医が指示した時間までは飲水できます。	・麻酔が覚めた後は飲水出来ます。	・術後１日目の朝食から術前と同じ食事が開始となります。		・特にありません。 	
清潔	・手術部位の毛を刈った後にシャワー浴をします。	・シャワー浴はできません。	・汗などが多い場合は体を拭きます。	・尿管が入っている場合は身体を拭きにまいります。		・シャワー浴ができます。	
排泄	・特に制限はありません。		・尿を出す細い管が尿道に入っています。 ・出血の状況によっては、尿管を引っ張って止血する場合があります。	・医師の指示があれば尿管を抜きます。 ・尿管を抜いたら、３日間は蓄尿をしていただきます。（状況により継続する場合もあります。）			
説明	・外来で説明を受けていない場合は医師より手術の説明を行います。 ・看護師が入院生活や手術時（必要物品）の説明を行います。 ・麻酔科医と手術室の看護師の訪問があります。 ・緊張して眠れない方は安定剤を用意していますのでおっしゃってください。	・トイレに行かれる際などふらつくことがあるので看護師にお知らせください。 ・手術室へは歩いて行きます。	・主治医より手術後の説明があります。 ・手術中ご家族の方は３階の家族待合室でおまちください。手術が終わり次第ご連絡します。	・痛みや出血がある場合は看護師にお知らせ下さい。 ・その他気になる事があれば看護師へお伝え下さい。 ・尿の管を抜いた後、しばらく排尿時に痛みや血が混じったりすることがあります。水分摂取に心がけてください。			

・以上はあくまでも標準的なものであり、変更があれば随時お知らせします。

九州がんセンター　泌尿器科　　２０１６．１１